

平成29 年度（ 28 年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 29 年 7 月 12 日

1 事務事業 の現状 (DO)	事務事業名	No. 630504	有害鳥獣捕獲事業		主管課名	産業課					
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち			課長名	加藤 雅也				
		施策	効率的で安定的な農業を育むまち								
		基本事業	農業支援の推進								
	(1)事業の概要										
	鳥獣類による農作物への被害を防止するため、散弾銃・空気銃、アミ・箱罠を使用して有害鳥獣を捕獲する。また、農業者が設置する鳥獣被害防止施設の資材の一部を補助し、鳥獣被害を防止する。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)					
						名 称		単位			
						捕獲実施回数		回			
						農地面積		ha			
						その指標					
(28年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		農作物の被害を受けている農家や団体から、被害報告と捕獲の依頼を受ける。駆除依頼を基に有害鳥獣の捕獲許可を申請。捕獲許可を受けた後、みよし猟友会へ捕獲の委託。									
29年度計画		前年と同様 変更あり	変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)						
農地 農振農用地					名 称		単位				
					鳥獣捕獲許可区域面積		ha				
					農振農用地面積		ha				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)						
有害鳥獣による農作物被害を最小限に留める。 農作物被害を軽減し営農意欲を向上させる。					名 称		単位				
					被害のない農地面積 / 鳥獣捕獲許可区域面積		%				
					遊休農地面積 (農振農用地区域内)		ha				
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)						
農業経営安定のため農業支援を行う					名 称		単位				
					営農対象事業数		件				
					農業法人数		法人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値			
(5)の活動指標		回	25	25	25	25	25	25			
		ha	864	861	855	850	845	840			
(6)の対象指標		ha	125	125	125	125	125	125			
		ha	640	656	638	637	636	635			
(7)の成果指標		%	100	100	100	100	100	100			
		ha	6.5	5.1	5	4	3	2			
(8)の結果の成果指標		件	13	13	13	13	13	13			
		法人	7	7	9	10	11	11			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	06	項	01	目	03
(11)コスト		年度	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値						
事業費 (決算又は予算額)		単位	1,517	1,139	1,896						
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0						
	県支出金	千円	0	0	0						
	地方債	千円	0	0	0						
	その他	千円	0	0	0						
	一般財源	千円	1,517	1,139	1,896						
人件費 B		千円	779	2,131	1,556						
正職員従事時間×人数		時間×人	209 × 1	143 × 4	113 × 4						
正職員以外の人件費		千円									
その他費用 C		千円									
トータルコスト A+B+C		千円	2,296	3,270	3,452						
単位あたりコスト		千円/ ha	18	26	28						
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/ ha	4	5	5						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 630504 有害鳥獣捕獲事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	
	かなり前から	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
有害鳥獣による農作物への被害が多いため。		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		
変化していない 変化し住環境の変化により、有害鳥獣羽数は、増加 変化している 内容傾向にある。		

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務	根拠法令	なし		
			この事務を行う根拠又は理由	農作物の安定生産・供給に必要なため。		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく	理由			
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる	拡大	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる	追加	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	一定の成果は達成しているので、これを維持する		
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	庁内事業	類似事業名	ある	内容
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある	内容				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある	内容				
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容			

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

施策主管次長所見欄	施策主管次長意見
1次評価どおり 2次評価を希望	